

1

ドメイン名紛争処理の概略

2001年12月5日 IW2001-JPドメイン名とDRP 丸山直昌 maruyama@nic.ad.jp

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

JPA NIC

2

ドメイン名紛争の歴史(1)

- 商標権者との利害対立(主にアメリカで)
 - mtv.com 1993年
 - kaplan.com 1994年
 - mcdonalds.com 1994年
- いずれも当事者同士で和解(解決金額は公表されていない)

2001/12/5

J.P.

3

歴史(2)

- "cyber squatting", "cyber piracy"
- 米国で多くの裁判例
- ドメイン名紛争の商標法的観点からの扱い
 - どのような場合に「商標権侵害」が成り立つか? 商標としての「使用」とは?

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

쩄

NSI Domain Name Dispute (Resolution) Policy

- Network Solutions, Inc.が制定
- 1995年 7月28日より.com.net.org に適用
- 登録ドメイン名と同じ文字列の商標登録を 第三者がNSIに示せば、紛争の解決まで そのドメイン名の使用は停止(Hold)される。

2001/12/5

J.P.

NSI Domain Name Dispute Policy(続き)

ただし

- ドメイン名登録の方が商標登録よりも先
- ドメイン名登録者側も商標登録を持っている
- の場合は登録者は継続してそのドメイン名を 使用可能

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

*J*Re

NSI Domain Name Dispute Policyに関する議論

- ・ドメイン名の問題を商標権の枠組で判断して良いのか?
- ・ドメイン名、或はそのドメイン名の使用状況 を無視して商標登録の有無だけで判断し て良いのか?
- どこの国の商標登録も同等に扱うことは適切か?

2001/12/5

J.P.

7

NSI Domain Name Dispute Policyに関する議論(続き)

- 法的に決着がついていないうちにドメイン 名を凍結状態(Hold)にすることは適切か?
 - 凍結にされたドメイン名の登録者が勝訴した場合には、凍結期間中に損害を一方的に受ける

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

JPA NIC

8

被告としてのNSI

NSIは .com .net .org のレジストリとして自身ドメイン名紛争の被告に数十回もなっているが、紛争対象になったドメイン名を凍結状態(Hold)にする裁量権(登録約款に基づく)を主張してしのいだ

2001/12/5

アメリカでの判例、立法の動向 (1996年頃)

- ドメイン名の登録は、それ自体商標としての「使用」に該当するのか? → NO
- 著名商標の「希釈化防止法」(1996年1月16日)
 - 著名商標の場合には、「誤認混同」の証明無しでも商標権の侵害と見なす
 - 日本の不正競争防止法にも同様の規定ができる
 - 商標権者有利

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

JPA NIC

10

.JPの初期の「紛争処理方針」

- 1998年3月1日施行の「JPドメイン名登録規則」
 - http://www.nic.ad.jp/jp/regist/dom/doc/rule.html
 - 司法判断の尊重(第31条)
 - (ドメイン名の使用差し止めを命ずる確定判決などの写しの提出があれば当該ドメイン名の登録を取り消す)
- 紛争が起こっても司法判断が確定するまでは、ドメイン名の凍結などは一切行なわない
- 商標法や商標登録に特別の意味を置かない

2001/12/5

新しい方向への国際的なうねり (1)

- 1996年11月 IAHC(International Adhoc Committee)結成
- 1997年2月 IAHC Final Report
 - 新gTLD創設の提案
 - Administrative Domain Name Challenge Panels(異議申し立て制度 – WIPOに期待) 現在のUDRPの原型と見なせるもの 新gTLDへの適用を目指していた 紛争処理の判断基準に多くの不確定要素

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

新しい方向への国際的なうねり (2)

- 1997年2月 WIPO(World Intellectual Property Organization)のインターネットドメインネーム会合 開催
- 1997年2月 Establishment of A Memorandum of Understanding on The Generic Top Level Domain Name Space of The Internet Domain Name System(gTLD-MoU)
- 1997年5月 WIPO Consultative Meeting(一回目)

2001/12/5

> 新しい方向への国際的なうねり (3)

- 1997年7月 米国政府の政策文書"Framework for Global Electronic Commerce"
- 1997年9月 WIPO Consultative Meeting(二回目)
- 1998年1月 米国政府の"Green Paper"(A Proposal To Improve Technical Management of Internet Names and Addresses – Discussion Draft)
 - IAHC Final Report を意識した内容
 - 結果としてgTLD-MoUはご破算になる

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

新しい方向への国際的なうねり (4)

- 1998年4月 "Green Paper"に対する意見募集
- 1998年6月 米国政府の"White Paper" (Management of Internet Names and Addresses)
 - IAHCの活動に言及
 - IANAの機能を引き継ぐ新組織設立の提案
 - ドメイン名の紛争解決に関してWIPOに検討依頼
 - Cyberpiracyがからむ商標とドメイン名の紛争解決
 - gTLDにおける著名商標の保護の手続き
 - 新gTLDの創設

2001/12/5

> 新しい方向への国際的なうねり (5)

- 1998年7月 WIPO Process開始
- 1998年10月 ICANN設立
- 1999年4月 WIPO Report完成
 - "Uniform Dispute Resolution Policy"
 - "It is recommended that the scope of the administrative procedure be limited to the abusive registration of domain names, as defined in the next section."

2001/12/5

© Copyright 2001

By Japan Network Information Center

新しい方向への国際的なうねり (6)

- 1999年5月 ICANNのDNSO(Domain Name Supporting Organization)設立
- 1999年6月 DNSOに3つのWorking Group 結成
 - Working Group A Dispute Resolution Policy
 - Working Group B Famous Trade-Marks
 - Working Group C New gTLDs

2001/12/5

> 新しい方向への国際的なうねり (7)

- 1999年8月 WG-A Final report
- 1999年8月 ICANN Santiago会合での議論
- 1999年10月 米議会でAnti-cyber squatting consumer protection act成立
- 1999年10月 ICANN理事会でUDRP採択
 - Minimalist approach
 - "bad faith"
- 1999年12月 UDRP施行

参考: http://www.nic.ad.jp/jp/materials/iw/2000/proceedings/T18.PDF

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

JPA NIE

18

JPNICにおける紛争対応

• JPドメイン名紛争処理方針(2000年10月) http://www.nic.ad.jp/jp/regist/dom/doc/jp-drp-policy.html http://www.nic.ad.jp/jp/regist/dom/doc/jp-drp-rule.html http://www.nic.ad.jp/jp/regist/dom/drp/drp-flow.html

2001/12/5



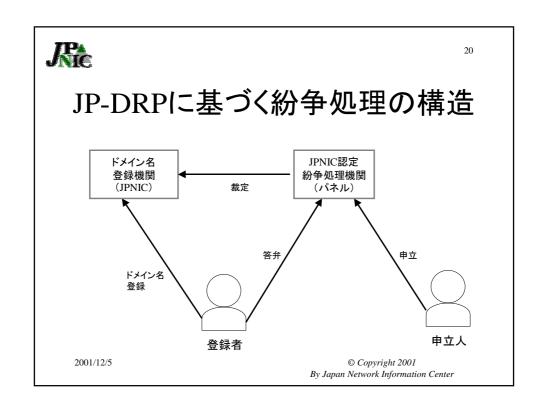
19

JPドメイン名紛争処理方針 (JP-DRP)

UDRP を日本の状況に擦り合わせ(ローカライズ)

- ・ 合意裁判管轄の1つを東京地方裁判書に固定
- ・ 申立書・答弁書の送付方法を日本の裁判・仲裁等で採 用されている一般的な方式に変更
- 手続言語は日本語
- ・ 準拠法は日本法
- ・ 申立の根拠を「商標その他表示」に
 - →UDRP では "trademarks or service marks"

2001/12/5



> JP-DRP手続の流れ (パネリストが一名の場合) 経過日数
>
> 0日 1.申立書の提出 (申立人→紛争処理機関)
>
> 1日 2.申立書の受領 (紛争処理機関)

2001/12/5

© Copyright 2001

By Japan Network Information Center

JP-DRP手続の流れ(続き)

↓
3.当該ドメイン名についてJPNICに照会
(紛争処理機関→JPNIC)

↓
4.申立書の方式審査
(紛争処理機関)

·不備があった場合、申立人に通知
・申立人は5日以内に不備を補正

Internet Week 2001 資料2



23

JP-DRP手続の流れ(続き)

10日 5.料金の支払 (申立人→紛争処理機関)

申立書受領後10日以内に支払

6.申立書を登録者に送付 ・料金受領後3日以内に送付 (紛争処理機関→登録者) ·送付日が「手続開始日」

2001/12/5

© Copyright 2001 By Japan Network Information Center

J.P.

JP-DRP手続の流れ(続き)

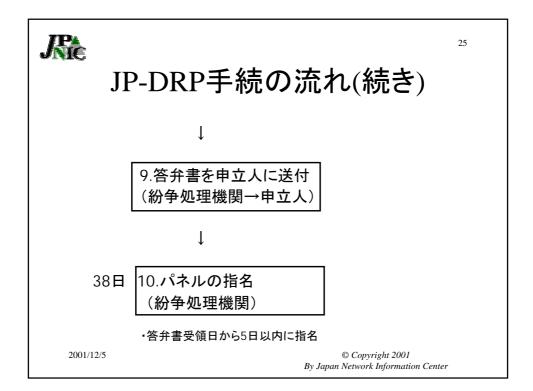
7. 当該ドメイン名と手続開始日を通知 (紛争処理機関→両当事者、JPNIC)

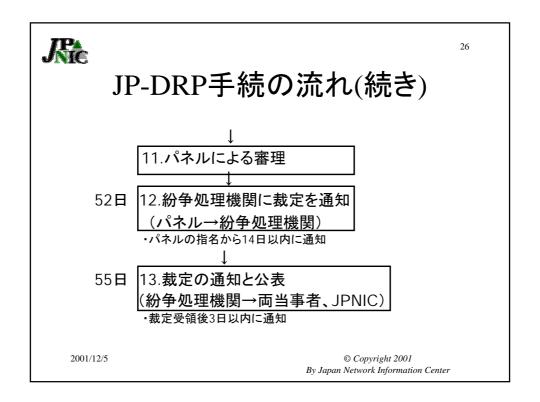
1

8.答弁書の提出 33日 (登録者→紛争処理機関)

・手続開始日から20日以内に提出

2001/12/5





Internet Week 2001 資料2



27

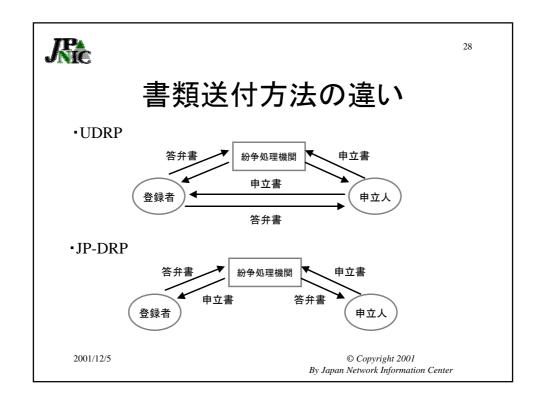
JP-DRP手続の流れ(続き)

(裁定結果がドメイン名の取消・移転の場合)

14.裁定結果の実行 (JPNIC)

- ・裁定通知後10日間はその実行を保留
- ・この10日間の間に登録者による合意管轄裁判所への出訴がなければ実行

2001/12/5





29

JP-DRPの紛争処理機関

• 知的財産仲裁センター http://www.ip-adr.gr.jp

2001/12/5